

**土地政策の中長期ビジョン
(国民生活を豊かにする不動産のあり方ビジョン)**

報告(案)

平成21年6月29日

【目次】

第1部 土地政策の中長期ビジョン

1. 土地政策の新たな地平

- (1) 土地政策の経緯
- (2) 今、土地政策に求められるもの
- (3) 不動産に対する需要の変化と土地政策の方向性

2. 不動産市場の変貌と今後の政策展開

- (1) 我が国不動産市場をめぐる現状
- (2) 市場行動の変化 - 個人・企業と行政・地域 -
 - () 個人 - 消費者の視点に立ったストックの活用 -
 - () 企業と行政 - CRE・PREの普及促進 -
 - () 地域 - エリアマネジメントの推進 -
- (3) 市場の機能の変化 - 情報・資金・人材 -
 - () 市場構造の変化と対応
 - () 不動産に関する情報の整備・提供
 - () 不動産市場における中長期の安定的な資金の確保
 - () 不動産市場を支えるビジネス・人材の育成
 - () 不動産市場を補完する行政の役割

3. 新たな政策課題と対応

- (1) 新しい不動産価値の創出 環境、安全・安心、景観等 -
- (2) 守るべき不動産価値の保全 - 不動産の適正管理等の推進 -

第2部 土地政策の中長期ビジョンの実現に向けて

1. 政策体系（アクション・プログラム）

- (1) 市場行動の変化 - 個人・企業と行政・地域 -
- (2) 市場の機能の変化 - 情報・資金・人材 -
- (3) 新しい不動産価値の創出 - 環境、安全・安心、景観等 -
- (4) 守るべき不動産価値の保全 - 不動産の適正管理等の推進 -

2. 当面する政策課題への対応

- (1) CRE・PRE等の推進
- (2) エリアマネジメントの推進 - ニュータウン再生を中心として -
- (3) 不動産情報の総合整備
- (4) 環境等新たな価値の不動産への取込み
- (5) 外部不経済対策 - 空き地・空き家等に対する取組を中心として -